

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

都道府県知事  
(市長)

殿

提出者

住 所 本庄市児玉町児玉850-10

氏 名 赤城乳業株式会社

本庄千本さくら「5S」工場

電話番号 0495-71-0003

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

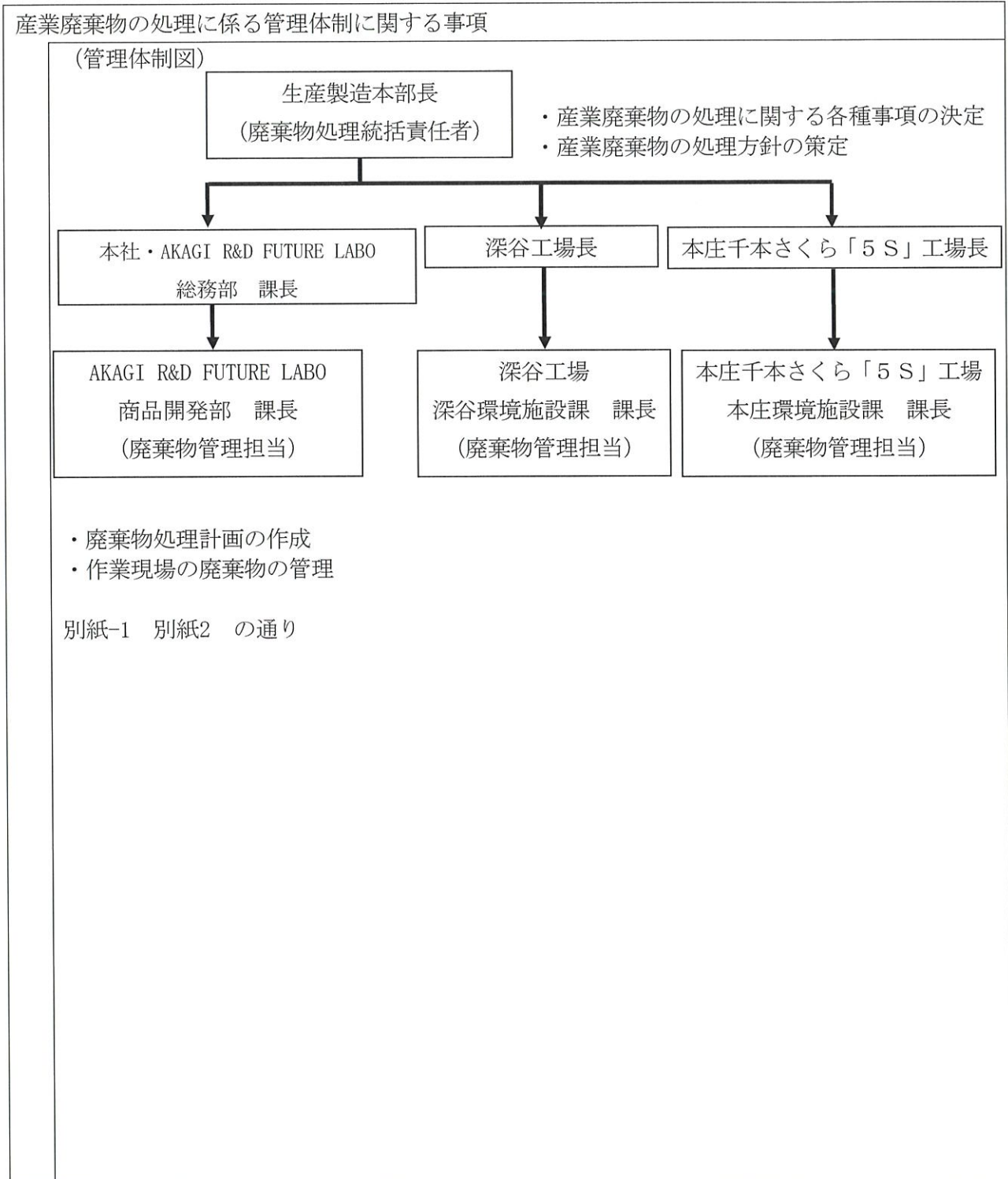
事業場の名称	赤城乳業(株)本庄千本さくら「5S」工場
事業場の所在地	埼玉県本庄市児玉町児玉850-10
計画期間	令和 <sup>5</sup> 年 4月1日から令和 <sup>6</sup> 年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食料品製造業
② 事業の規模	520億円
③ 従業員数	410人



④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類 → 破碎 → 火力発電の燃料に利用 ・木くず → 破碎 → チップとして再生利用 ・動植物性残渣 → 肥料化 → 肥料として再利用 ・汚泥 → 肥料化 → 肥料として再利用 ・廃酸 → 飼料化 → 豚の餌として再利用 ・廃酸 → バイオ施設 → 熱エネルギー ・蛍光灯 → 破碎 → アルミ、真鍮は再利用 ・
-----------------	--

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)



--

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 <sup>4</sup> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-1のとおり	
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・生産ロス対策管理 ・廃棄物分別及び教育		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-1のとおり	
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・生産ロス対策管理 ・廃棄物分別及び教育		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物の種類ごとにコンテナを設け分別の実施
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンテナへ表示にて廃棄物を明確化

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 <sup>4</sup> <del>3</del> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 <sup>4</sup> <del>3</del> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		

	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 <sup>4</sup>			
① 現状	【前年度（令和 <sup>4</sup> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 <sup>4</sup>			
① 現状	【前年度（令和 <sup>4</sup> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t

		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(これまでに実施した取組) ・ 処理業者への現地視察		

(第5面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取組) ・ 処理業者への定期的な現地視察		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【 前年度(2022年)度実績 】										
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	動植物性残渣	汚泥	プラ金混合	蛍光灯	電池	廃酸	廃油	廃電気機械器具
排出量	125.27t	18.885t	145.15t	695.10t	—	0.04t	t	1479.87t	—	0.08t
(これまでに実施した取組) ・汚泥は脱水機洗浄をこまめに行い含水量を少なくするよう管理 ・生産効率向上による廃酸排出量の抑止										
										合計2464.39t

【 2023年度目標 】										
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	動植物性残渣	汚泥	プラ金混合	蛍光灯	電池	廃酸	廃油	小型家電
排出量	129.02t	19.45t	149.50t	715.95t	—	0.0412t	t	1524.26t	—	0.0824t
(今後実施する予定の取組) ・上記事項の継続 ・廃プラスチック類は、水分を出来るだけ除去する。 ・生産性向上を目指し、ロスを低減させる。										
										合計2538.3t



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙-2

①現状 R4. 4. 1 ~ R5. 3. 31

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	動植物性残さ	汚泥	ブラ金混合	蛍光灯	電池	廃酸	排油	廃電気機械器具
優良認定処理業者への処理委託量	4.12t	—	—	—	—	—	—	—	—	0.08t
再生利用業者への処理委託量	—	18.885t	110.86	695.10t	—	0.04t	—	316.42t	—	—
認定熱回収業者への処理委託量	121.15t	—	34.29	—	—	—	—	1163.45t	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

合計2464.39t

4

再利業者	株式会社ユキ工業 (15.2t)	株式会社ひまわり環境 (0)	株式会社エコ計画 寄居 エコスベース (432.39t)	株式会社ウムヴエロコウ株式会社 (t)	株式会社エコ・フード (129.05t)
再利業者	有限会社 坂東資源 (2.4t)	クリンテックサーマル (104.61t)	株式会社ひまわり環境 (t)	株式会社ウムヴエロコウ株式会社 (0.04t)	株式会社エコ・フード (187.370t)
認定熱回収業者	株式会社 サニック ス本田工務 (121.15t)	クリンテックサーマル (t)	クリンテックサーマル (t)	株式会社エコーエネ (1163.45t)	オリックス資源循環 (株) 廃プラ寄居 工務 (2.1t)
優良認定処理業者	クリンテックサーマル (1.4t)	株式会社エコ・フード (5.8t)	和幸 (t)	オリックス資源循環 (株) チラー (t)	リバー (0.08t)
	リバー (0.62t)	よりいコンポスト (0.45t)	赤城オーガニック (237.86t)		
	(株) 鈴鹿県玉営業所 (t)	よりいコンポスト (22.02t)	株式会社エコ・フード (2.83t)		

②計画 R5. 4. 1 ~ R6. 5. 31

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	動植物性残さ	汚泥	ブラ金混合	蛍光灯	電池	廃酸	排油	小型家電
優良認定処理業者への処理委託量	4.24t	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0824t
再生利用業者への処理委託量	—	19.45t	114.18t	715.95t	—	0.0412t	—	325.91t	—	—
認定熱回収業者への処理委託量	124.78t	—	35.31t	—	—	—	—	1198.35t	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

合計2538.3t